



飛躍する勤労

転属は進化のチャンス！

野添 猛臣 著

はじめに

僕はダメ社員でした。

いつもなにかにイラついていました。

上司に対して、同僚に対して、評価に対して、いつも誰かに八つ当たりをしていました。

それでは組織の中で働くことはできません。

そんな僕に会社は当然のように部署の異動「転属辞令」を出します。

その回数、なんと4回！

普通の人なら4回も転属辞令を受けると退職してしまうか、やる気をなくしてしまうかのどちらかではないでしょうか？

結論から先に言ってしまうと僕は最終的に営業部長と製造部長になりました。

この本はひとりの生意気な若手社員が繰り返す転属の中で仲間と出会い、改善意識・評価・リーダーシップ・チームワークなどについて数多くの経験からそれを活か

し会社の中心的な存在となる話です。

経験と言っても失敗ばかりですが……。

ここで伝えたいことは、人は何度でもやり直すことができる。

そのチャンスが「転属」である。

「転属」を新しい自分に生まれ変わる機会と思つて前向きに考えて行動すれば、新しい道が開けてきます。

「転属」は進化のチャンス！

次のステップに進むための飛躍の時なのです。

「飛躍する勤労」「転属」を繰り返しても大丈夫！

どこに所属しても「自分が楽しむ」ことさえ忘れなければ道は開けます。

この本が読んでくださる方すべての希望となれば幸いです。